

提出
順番

No.
9

令和 2 年 11 月 26 日
午前 (午後) / 時 20 分受領

令和 2 年 11 月 26 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 酒井 はやみ 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
児童虐待、子どもへの暴力のない町づくりを	<p>減らない児童虐待の実態を踏まえて、2019年6月に「児童虐待防止対策の強化を図るための児童福祉法等の一部を改正する法律」が公布されました。親による体罰の禁止が法律上明記され、あらゆる子どもへの暴力は「しつけ」に当たらないこと、子どもの権利を侵害し発達をゆがめるとの認識が広がり、虐待を防ぐための様々な対策が国でも地方自治体でも取られてきました。</p> <p>にもかかわらず虐待の件数は増え続け、痛ましい事件が後を絶ちません。2019年度は過去最高の19万4000件となっています。幕別町でも、2015年度以降の虐待件数は、13、9、19、7件と、減少しているとは言えません。</p> <p>また、このコロナ禍において、外出自粛や保護者の収入が不安定になるなどの影響で、虐待リスクが高まっていることが指摘されています。今年1～7月は昨年同時期と比べて相談件数が8%増加していると報じられています。</p> <p>虐待を含む暴力は、子どもに計り知れない傷を負わせ、人生そのものを狂わせかねないものであり、早期の根絶を目指してあらゆる手立てを尽くすことが求められます。子育て支援や教育を直接担うのが地方自治体であることから、虐待をなくす上で市町村の役割がより強調されるようになってきています。</p> <p>幕別町においても、子育て支援や経済支援、関係機関の連携、教育など、様々な角度から虐待防止に取り組んでいます。その評価と、児童虐待ゼロに向けた町を目指</p>

して何が必要か、以下の点を伺います。

1 家庭支援について

- ・全妊婦訪問、乳児全戸訪問事業の訪問率と未訪問件数は。
- ・乳幼児健診の受診率と、未受診件数は。
- ・会っていない妊婦、母親、子どもへの対応は。
- ・養育支援訪問事業の内容と、コロナ禍での要保護児童の実態把握は。
- ・未就園児全戸訪問事業を実施する考えは。

2 「虐待とは何か」の正しい理解を広げるために

- ・子どもに携わる人（保護者、保育士、教員）への研修を
- ・教員へのセルフチェックシートの活用

3 子ども自身が暴力を跳ね返し、権利の主体者としての力をつけるために、「こどもの権利」の学習や性教育（市民団体「十勝CAP そらの駅」が取り組んでいる講座など）に取り組む考えは。

4 町としての子どもの貧困対策の取組状況は。